

体験教室

硬式球で基礎練習

リトル
シニア能代 小学6年生7人参加



硬式球でノックを受ける参加者
(能代高室内練習場で)

少年硬式野球のリトル
シニア能代の硬式野球体
験会は13日、能代高室内
練習場で開かれ、能代山
本の小学6年生が硬式球
での基礎練習を体験し、
硬式野球への関心を高め
た。

体験会は、硬式野球の
普及と会員の底辺拡大な
どを目的に全3回の日程
で開催。初回のこの日は、
能代山本の小学6年生7
人が参加し、大沢勉監督
(67)やコーチ陣が指導に
当たった。

参加者はウォーミング
アップの後、キャッチボ
ールやトスバットティン
グ、ティールバットティン
グ、守備練習などを体験。硬
式球は軟式球に比べて重
く、球が弾まないなど違
いがあるため、投げ方や
打ち方で悪戦苦闘する姿
も見られた。

最後は大沢監督が1人
ひとりにノックで指導。
ゴロの処理の仕方などを
学びながら、鋭い打球が飛ん
できても果敢にグラブを
突き出す姿に、リトルシ
ニア能代の先輩たちが
らも「いいね!」「オーケ
ー」などと声があがった。
田村隆君(森岳小6年)
は「軟式よりも打球が速
かったが、あまり弾まな
いのでうまく捕球でき
た。捕球してからのステ
ップの仕方を覚えていき

たい」と意欲を見せてい
た。
大沢監督は「初めて硬
式球に触れた子もいた
が、のびのびが早く最後
のノックでは上手に捕
球していた。守備の感覚
や足の使い方などに慣
れたい」と話していた。
体験会は20、27日にも
小学6年生から中学2
年生を対象に同校室内
練習場で開かれる。時間
は午前9時～正午。希望
者は出口会場へ。